

平成 24 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	長良児童センター	所管課	福祉部子ども家庭課
所在地	岐阜市長良389番地2		
指定管理者名	社会福祉法人 日本児童育成園		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,518,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:716.74㎡ ◇延床面積:515.50㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、集会室兼図書学習室、おもちゃ図書館、事務室兼静養室、駐車場		

●利用状況

		H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期	H22 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	13,580	15,257	16,240	15,604	14,057
	移動児童館利用者数	1,009	1,539	1,746	1,337	3,007
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	30	37	43	42	77
	開館日数(単位:日)	151	157	152	157	151

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長、児童厚生員(2名)、体育指導員(1名)。 ③新聞や地域のコミュニティー誌への掲載、チラシ発行・配布、ポスター掲示、児童館ホームページ掲載。活動内容のブログを開始 ④苦情・クレームについてはマニュアルに従って対応。アンケート調査結果は館内に掲示(公開)。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、②、④適切に実施。就労清掃の実施。 ③裏紙使用などの事務用品の節約、廃材や自然物の活用に努め、遊びの中でエコを再考している。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①②センター内の清掃や修理に関しても職員で対応している。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、③適切に実施。毎月の安全点検を継続。情報共有し危機管理意識を高めている。 ②利用者と一緒に避難訓練実施。地震・火災の場合の避難方法を確認。職員間でも各部屋の避難場所を確認し合っている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成25年2月15日～3月15日に利用者アンケート実施(無記名)。
利用者アンケートの実施結果	○児童センターのホームページ・ブログについて 見たことがある 66%、見たことがない 29%、知っているが見たことはない 5% ○幼児クラブについて 満足54%、ほぼ満足46%、やや不満0%、不満0% ○「びよちゃんタイム」(0歳児)について 満足48%、ほぼ満足50%、やや不満2%、不満0% ○「ロボッ子タイム」(1歳児)について 満足72%、ほぼ満足18%、やや不満10%、不満0% ○「スキンシップタイム」(0歳児)について 満足46%、ほぼ満足46%、やや不満6%、不満2% ○「リフレッシュ講座」(保護者)について 満足86%、ほぼ満足14%、やや不満0%、不満0% ○「なごみタイム」(保護者)について 満足20%、ほぼ満足60%、やや不満20%、不満0%
利用者からの要望・苦情と対処・改善	・要望 ⇒回答 トイレに子どもが座れる椅子がほしい。オムツ替え用の簡易ベッドがあるといい。子供用の様式トイレがほしい。 ⇒保護者の方がトイレに行くとき等、職員に子どもを気づかってもらっている。 アンケートについての意見対応は改善できることは即対応し、幼児クラブで報告したり、掲示をして知らせた。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	S	S	S
		区分評価			S	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	S	S
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）、地元住民の活用（雇用又はボランティア等）	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	A	A
	区分評価					S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<p>広報活動の一つとして始めた《ブログ》で、幼児クラブや児童対象行事、保護者対象行事の案内や活動の内容を載せることで、クラブに参加したことのない方でも雰囲気や活動内容が分かりやすくなった。後期に行ったアンケートでも、ホームページやブログを見ている方も多く、関心の高さが窺えた。10月・3月に行ったセンター祭りでは、小学生が大学生ボランティアと一緒にスタッフとして参加した。事前に行ったスタッフ会では積極的に意見も出し合い、自分達で作り上げるという意識が高まった。お祭りごとにテーマを設け、スタッフ・参加者共に楽しめるようにした。</p> <p>児童センターを拠点に子育てネットワーク会議を行い、地域の現状について話し合っている。また、地域や学校の行事に積極的に参加し、連携を取っている。</p>
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<p>ブログの充実等、広報活動に積極的に取り組んだ。</p> <p>冬季は行えなかったが、《お出かけ児童館》を楽しみに待っている方もおり、少しずつ活動や児童センターの知名度を上げることが出来た。</p>
今後の取組み	<p>今年度から始めた《お出かけ児童館》では、児童館をより多くの方に知ってもらえる良い機会となった。下半期は寒い日が多く外遊びには向かなかったが、今後気候の良い季節に積極的に行い、参加者を増やしていきたい。</p> <p>比較的、利用者の少ない午後に行っている《なごみタイム》では認知度が低い現状があるが、25年度にはチラシに作品の写真を載せるなどしてより分かりやすくした。幼児クラブ時にも声かけを行い、より多くの方にリフレッシュできる時間を提供したい。</p> <p>今後も地域と連携しながら子育て支援・児童健全育成に努めていく。</p>

●所管課の意見

<p>児童センターのおたより発行・ホームページ・ブログや移動児童館事業を行い、広報活動や遊びの提供に努めた。アンケートを実施し、ニーズの把握とサービス改善に努めた。また、長良地域の子育て支援関係者による「子育て支援ネットワーク協議会」では地域の現状について話し合っている。</p> <p>幼児クラブでは毎回体操を行い、児童クラブでは卓球クラブを設けている。またボール遊び等行事や普段の遊びの中で運動を取り入れ子どもたちの体力増進に勤めている。今まで行っていた移動児童館「わくわく外遊び」を「お出かけ児童館」と名称変更し、宣伝効果を高めるための工夫や外遊び用のおもちゃを増やすなど積極的に実施した。</p> <p>地域の歯科衛生士である保護者による「歯はっ子くらぶ」を実施するなどボランティア活用による事業充実にも努めている。</p> <p>職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われた。</p> <p>放課後児童に関し、小学校との連携が図られている。その他、子育ての関係機関との交流や地域の行事に積極的に参加、支援、連携し、地域に貢献した。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>事業計画書どおり適正に管理運営されており、良好と認められる。</p> <p>事業の実施においても利用者のニーズを取り入れた方策が取られていると見受けられる。</p> <p>各施設でノウハウを共有するなどして今後もより充実した活動をしていただきたい。</p>
